



第7号

発行 平成17年7月1日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 黒沢 英宣

かがやき

目次

「ごあいさつ」 茨城県立図書館 館長 千葉正仁
「皆さんと共に」 ボランティア協議会会長 小松崎勇
ボランティア協議会議事録抜すい
～ ボランティア研修会に参加しましょう ～
子どもの日、にぎやかに
ボランティアの声
図書館からのインフォメーション
「宝との廻り合い」
編集後記



ごあいさつ



茨城県立図書館長 千葉 正仁

この4月から図書館勤務となりました。最初の一週間は図書整理期間のため来館者をお迎えしたのは4月8日の金曜日でした。開館前のウェルカムミュージックや玄関前に並ぶ利用者の列にカルチャーショックを覚えてから3ヶ月という時が流れようとしています。

例年より開花の遅かった桜のように私の目覚めも遅く、皆様にごあいさついたしました

したのもしばらくの時が流れてからでした。このことにつきまして深く反省いたしますともにお詫びを申し上げます。

さて、皆様ご承知のように、この秋に



は第91回全国図書館大会が本県で開催されます。前回の本県での開催は明治44年でしたから、大正・昭和の2つの時代を越えての大会となります。全国からのお客様を迎えるホスト県としての役割もさることながら、図書館建築の分科会を初めて設けたほか「ボランティアの集い」を準分科会と位置づけるなど、茨城らしさをアピール

しておりますので、従来の活動と併せまして、ご協力のほどお願いいたします。

終わりに私の子どものような年代から兄・姉のような多くの皆様のグリーンエプロンでの活動に感謝申し上げますとともに、今後のご活躍とご健勝をお祈りいたしましてあいさつとさせていただきます。



皆さんと共に



茨城県立図書館 ボランティア協議会会長
小松崎 勇

このたび皆様のお世話役を担うことになりました。私としては、まず、ボランティア相互の連帯感のもとに、それぞれの役割を果たし、県立図書館利用者の利便に寄与したいと思っていますところ です。

本年は、全国図書館大会が本県で開催されます。大会への参加によって、他県の活動状況を知り、さらに協議会自体の研修等を通じて、皆さんと共にボランティア意識

の向上と活動の実績を高めて参りたいと思っております。

どうかご支援ご協力を切にお願いいたします。



ボランティア協議会議事録抜すい

～ 平成 17・4・23 開催 ～

17年度活動計画

(1) ボランティア研修会を年2回実施する

前期は6月～7月頃、
内容は講演会を予定

講師には去る3月12日の研修会で「元気に飛び出す！～図書館ボランティアの可能性～」の池田幸也氏（常磐大学教授）を考えております。

この研修会は受講者に大変好評でし

た。より多くのボランティアにぜひ参加してほしいとの要望から、再度、講師として依頼することになりました。

後期については、全国図書館大会の後を考えています。

(2) ボランティア見学会(交流会)

行き先を図書館に限定しないで、他の施設も考慮に入れ楽しく参加できるような計画を検討します。

その他

全国図書館大会は平成 17 年 10 月 26 日～28 日に開催されます。

大会 2 日目には「ボランティアの集い」があり、分散会では県立図書館代読サービスボランティアの事例発表が予定されています。

大会当日のお手伝いも募集される予定です。多くのボランティアの参加と協力を期待します。

～ ボランティア研修会に参加しましょう ～

7 月 16 日(土) 13:00～16:30

既にご案内が届いていることと思いますが「発見」と「共感」に出会える研修会です
よりよい活動のために ご参加を！！



子ども読書フェスティバル

・ 子どもの日、にぎやかに ・

この日、恒例となったフェスティバルは、およそ 8,000 人の人出があり、館内外のイベントや模擬店は、多くの親子連れやグ



ループでにぎわいました。

図書館ボランティアは、前日準備、喫茶コーナー、読み聞かせ、着ぐるみ、三の丸広場、ホール、手作り教室、後片付けの 8 つの分野を希望により分担し、参加協力しました。

参加したボランティアは、前日 8 名(昨年 13 名)、当日 32 名(昨年 34 名)で延べ 40 名の参加でした。

最も多かったのは、読み聞かせの 12 名、次に喫茶コーナーの 10 名、3 番目は前日準備の 8 名でした。特に高校生ボランティアのはつらつとした活躍は、同じボランティ

アとして良い意味で刺激を受け、うれしいことでした。

なお、喫茶コーナーでは、28,800円（コーヒー、ジュース各々1杯100円）の売上があり、材料仕入れのための経費を差し引いても8,483円の収益がありました。

この収益金については、ボランティア分野別の各正副委員長で構成するボランティア協議会においてその使いみちなどを協議



してもらいたいと思います。

今回参加協力されたボランティアの皆様、お疲れさまでした。



また、今回参加されなかった皆様、秋に開催される全国図書館大会や秋季図書フェスティバルには、是非ともご参加くださるようお願いいたします。

〔黒澤 英宣〕

ボランティアの声

ボランティア室に設置した投票箱に寄せられた皆様の声と図書館の回答です。

読み聞かせをしていると時計が必要です。読んでいるところから見やすいところに時計を掛けてください。

（西村 洋子）

ご意見ありがとうございます。時計を購入し、おはなし室に設置したいと思います。

ボランティア室のロッカー0012に昨年より衣類があります。管理は？

ロッカーに「お心当たりの方は、お持ちください」と張り紙をしました。7月1日現在、まだあります。この紙面をご覧の方でお心当たりの方は、お持ち帰りください。

毎月1回図書館の日を設定し、何か催し物をして欲しい。そのとき、血圧測定、中性脂肪の測定も。

毎月1回の図書館の日の設定や催し物開催については検討しているところです。健康診断等については、関係団体と相談中です。

配架ボラを担当しています。回数は少ないですが、1時間程度の活動は密度が濃いというか集中して出来るので終わったときに達成感があります。これからも自分のペースで取り組んでいきたいと思います。

図書館としても嬉しいご意見です。今後ともよろしくお願いします。

古本フリーマーケットの人より、「犬の糞を始末しないで散歩させる人がいる。飼い主のマナーだが、守れない人がいるのだから図書館側でも対応を考えて欲しい。」とのことです。

(木村 澄子)

ご意見ありがとうございます。利用者へのマナーを呼びかけるなど、注意を促したいと思います。



図書館からのインフォメーション



*** ボランティア室のエプロン収納棚の設置について ***

皆さんの「エプロンや名札を置く場所があるとよい」とのご意見から、ボランティア室にレターケースを設置いたしましたので、どうぞご利用ください。

なお、ご利用いただく際は、名札も必ず置き、どなたのものか判るようにしてください。



宝との廻り合い

さる5月8日、県立図書館3Fで行われた児童サービスボランティア応募者の面接に、思いがけず同席の機会を与えられまし

た。

今日はどのような人材と対面できるのかなど、内心、不安と期待につつまれて、入

室した私でした。

応募者はすべて女性で、年齢の幅もかなりあり、いったいどのような顔ぶれかなと楽しみつつ、最初の面接者との対面となりました。

しっかりした応答の女性、与えられた書面の朗読もきちんとしており、これは出だしから良い状況だなと、ひとりで喜びを感じていました。

次の面接者も、これはこれだと感心させられる女性、現在の職場では体験できないものを求めて精進したいとの意向を表明されて、驚きを感じさせられた私でした。

次の大学生も、最近私が抱いている大学生に関するイメージを打ち破る人材で、またまた感服の有様、くわえて、次々に登場の高校生にも、その意欲、発言の明確さに、感銘を受けさせられました。結果として、

すべての面接者に合格点をつけたくなりました。

最近の若者への私の認識が一新されたような気持ちです。このような宝物がこれからこの図書館のボランティアの仲間入りとなることに、大拍手をしたい心境になった次第です。

図書館の2人の課長の見解では、土曜日、日曜日と活動の日を限定して募集をしたのが、このような良い結果となったのではないかと、とのことでした。

人材不足に悩んでいた状況において、このような優れた感覚、能力を持った新人が多数仲間入りしたことは、ボランティア一同にとって、大きな喜びです。また図書館事業の発展を大いに期待できる募集結果と申せましょう。

〔児童サービス 上條 哲〕

編集後記

ボランティア室の掲示板には各係の連絡がたくさん貼ってあり、そのどれからも生き生きと活動している様子がうかがえる。建物の素晴らしさは折り紙つきである。ソフト面での活性化では、ボランティアの活動が大いに期待されているのではないかなと思う。

一人の力は小さいかもしれないが、小さなアリが集まれば立派な蟻塚をつくるような活動ができるといいなと思う。「多くの事をするのは易しいが一事を永続するのは難しい」とは、イギリスの劇作家B・ジョンソンのつぶやき。

梅雨明けも間近のようだ。夏の太陽に元気をもらおう。



〔佐藤 美智子〕